

●これまでの経緯

平成7年2月	「歴史文化学習館」が開館。
平成19年3月	「青山剛昌ふるさと館」としてリニューアルオープン。
令和2年2月	施設の狭隘性やバリアフリー化、貴重な所蔵品の収蔵・保管などの課題 →青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会が「青山剛昌ふるさと館のあり方に関する提言書」を北栄町へ提出。
令和4年3月	提言書を受け、北栄町は「青山剛昌ふるさと館再整備基本構想」を策定。

●コンセプト

「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」のシンボルとして、
地域住民はもちろんのこと、
北栄町を訪れるファンや観光客にも愛される
持続可能な施設を目指すとともに、
マンガ・アニメ文化の発展と情報発信を担う場を創造する。

●施設名称

現施設名称「青山剛昌ふるさと館」を、再整備後の新施設名称として引き続き使用する。

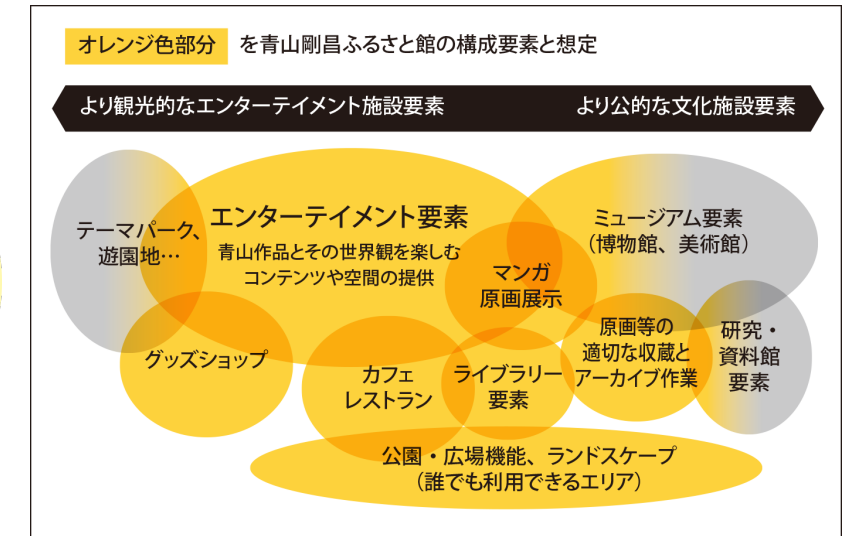
●基本方針

青山作品とその世界観を楽しむエンターテイメント要素を中心にした**観光機能**をメインに、
文化機能、収蔵・アーカイブ機能、カフェ・レストラン機能、公園・広場機能なども兼ね備えることで、
幅広い人が訪れ、多様な利用ができる新施設を検討。

■施設機能の基本方針イメージ



■施設機能の具体的な構成要素イメージ



■施設再整備の目的

- ポイント①**
ふるさと館来館者の満足度 UP
- ポイント②**
青山作品とマンガ文化の発展と情報発信
- ポイント③**
地域住民が日常利用できる機能と場所の提供
- ポイント④**
町内消費の拡大

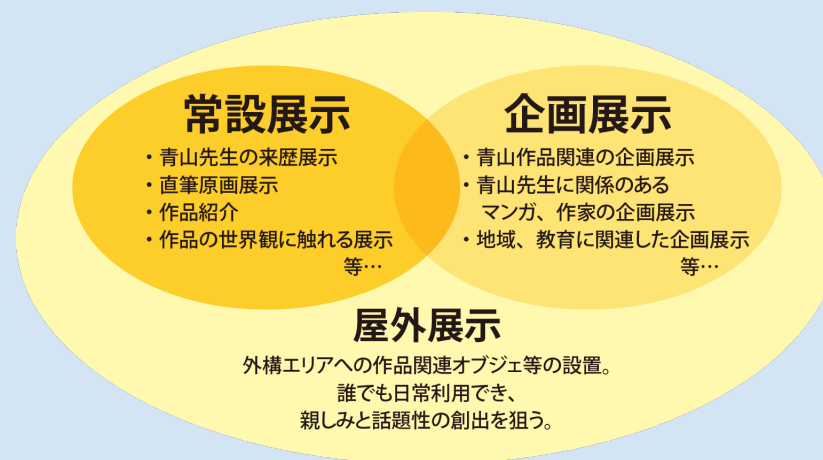
●事業計画

1. 収蔵計画

- 収蔵品について**
施設方針に則り、青山先生と青山作品に関連するものを収蔵・保管。
- 適切な環境下での保存**
収蔵品の劣化を防ぐため、
温湿度や照度の管理ができる設備を整える。
- 関連資料のデータベース化・アーカイブ化**
貴重な原画などをデータで保管することで、
収蔵品の多様な活用を可能にする仕組みづくり
に取り組む。

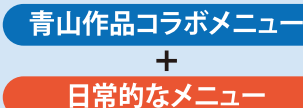
2. 展示計画

- ・青山作品のファンが楽しめる展示
- ・地域住民にとっても新たな発見と親しみが持てる展示



3. 飲食機能

地域住民も日常的に利用できる飲食店舗を検討。



4. ライブラリー機能

青山先生や青山作品への知識・関心
→すぐに関連書籍を手に取り
楽しめる体験の提供。

5. 公園・広場機能

憩いの場として親しみが持てるような、誰でも利用できる公園・広場機能を検討。

6. 持続可能な地域連携と地域活性化

「北栄町のファン」の増
→地域の好循環づくりを目指す。

● 計画地の概要

計画地	出会うの広場（鳥取県東伯郡北栄町由良宿1300番地）
敷地面積	24,166.08㎡（建ぺい率70%、容積率400%） ※既存「コナンの家 米花商店街」の1434.75㎡は含まない。

■ 計画地周辺マップ



【凡例】

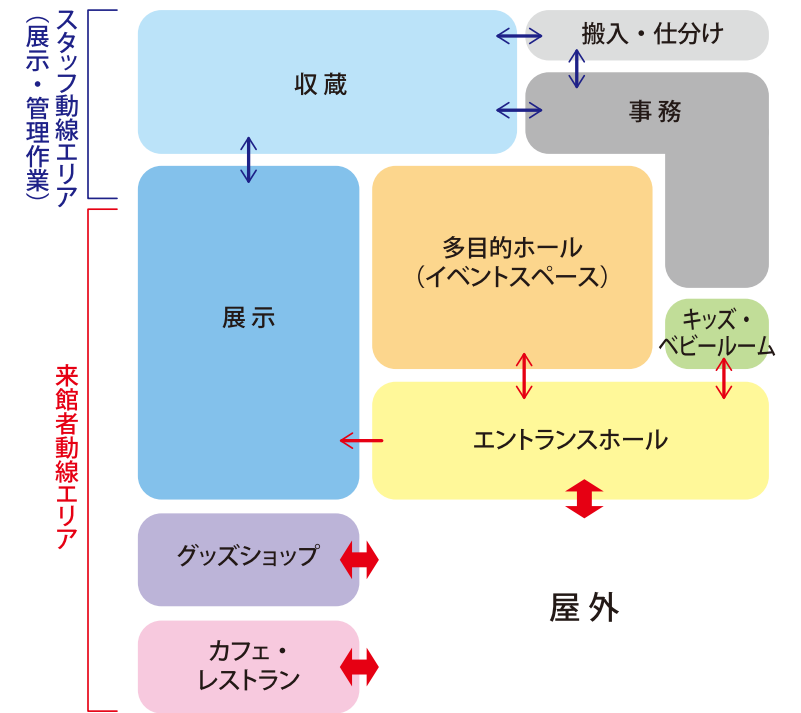
	：現ふるさと館が専用駐車場として利用中の敷地
	：現ふるさと館が繁忙期等に近隣駐車場として利用している敷地

● 施設計画

■ 施設の主な機能・設備と想定床面積

展示エリア	
・常設展示室	500㎡
収蔵エリア	
・収蔵庫／収蔵庫前室／燻蒸室	500㎡
コミュニケーションエリア	
・多目的ホール（イベントスペース）	1,100㎡
・フリースペース	
・キッズルーム	
・ベビールーム	
・飲食店舗（カフェ）	
・物販店舗（グッズショップ）	
共有・管理事務所エリア	
・エントランスホール／トイレ	900㎡
・事務室／応接室／会議室	
・救護室	
・倉庫	
・階段／エレベーター／廊下／その他	
計 3,000㎡	
屋外エリア	
・屋外広場	
・駐車場	

■ 諸室構成イメージ



■ 整備費用の検討

項目	試算額
①外構工事費	約4.0億円
②建築工事費（鉄筋コンクリート造）	約18.6億円
③展示工事費・装飾工事費	約5.5億円
合計	約28.1億円

● 運営手法

基本の運営手法方針 「町直営」

※指定管理方式も引き続き検討

事業の安定性、継続性の担保や、
著作権管理・監修のスムーズな進行が可能。



専門的なスキル・知見が
必要な一部業務

「業務委託または指定管理」

● 来館者数目標

新ふるさと館 開館から5年以内で
総来館者数100万人を目指す。

総来館者数100万人を達成すると…
観光消費額 約100億円（試算値）

※参考「令和3年観光客入込動態調査結果（鳥取県）」

● 新施設の開館予定

令和9年（2027年）開館を目指す。